



くまのみずき

「全国学力・学習状況調査」の結果より

3年生を対象として4月18日に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が、文部科学省から公表されました。今回はその「生徒質問紙」等に対する回答等の中から、本校生徒の特徴として挙げられるものをお知らせしたいと思います。

なお、過日3学年向けに配付した別紙にもありましており「本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと」も加味して、お読みいただけたらと思います。

【全国に比べて「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」、
「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」等の回答が高い主な質問】

- ◎ 普段(月～金曜日)、1日2時間以上勉強(学習塾等を含む)する生徒は、50%を超えます。
- ◎ 普段(月～金曜日)、1日2時間以上部活動をする生徒は、75%を超えます。
- テレビやゲームなどのルールを家の人と決めていると回答した生徒は、40%を超えます。
- 家の人が授業参観などの学校行事に来ると回答した生徒は、約95%です。
- ◎ 教科授業や道徳で話し合いや発表等の学習活動が充実していると回答した生徒は、約90%です。
- ◎ 「総合的な学習の時間」で発表等の学習活動が充実していると回答した生徒は、約80%です。
- ◎ 国語の授業で理由が分かるように自分の考えを書いていると回答した生徒は、約80%です。
- ◎ 数学の授業でもっと簡単な問題の解き方を考えると回答した生徒は、80%を超えます。
- 地域社会でボランティア活動に参加したことがあると回答した生徒は、75%を超えます。

※◎:10%以上高い ○5%以上(10%未満)高い

【全国に比べて「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」、
「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」等の回答が低い主な質問】

- ▼ 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していると回答した生徒は、約65%です。
- 家の人と将来のことについて話すことがあると回答した生徒は、45%を超えます。
- ▼ 家で、学校の授業の復習をしていると回答した生徒は、40%を超えます。
- ▼ 今住んでいる地域の行事に参加していると回答した生徒は、30%を超えます。

※●:10%以上低い ▼5%以上(10%未満)低い

国語について、生徒は授業内容がよく分かり、話の組み立てを工夫して意見を発表できていると回答しています。また、[主として知識]の出題に関しては「楷書と行書との違いを理解する」や「相手に分かりやすいように語句を選択して話す」等が優れており、「文脈に即して漢字を正しく書く」等に課題が見られます。[主として活用]の出題に関しては「登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する」や「目的に応じて必要な情報を読み取る」等が優れており、「話の論理的な構成や展開などに注意して聞く」に課題が見られます。

数学について、生徒は勉強が好きで、授業内容がよく分かり、問題の解き方や考え方が分かるようにノートを書いていると回答しています。また、[主として知識]の出題に関しては「円柱の体積の求め方」や「度数分布表について、ある階級の相対度数の求め方」等をよく理解しており、「錯角の意味の理解」等に課題が見られます。[主として活用]の出題に関しては「三角形の合同を利用し、筋道を立てて考え、証明すること」や「数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処置すること」等が優れており、「表やグラフを用いて、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」等に課題が見られます。

本校では、道徳教育に関して、文教大学国際学部教授の赤坂雅裕先生をお招きするとともに、教科教育に関して、横浜国立大学教育学部教授の有元典文先生をお招きし、授業改善に取り組んでおります。調査結果を毎年分析していると、成果が確実に上がっていることが実感でき、たいへんうれしく思っています。今後とも「自ら考えるとともに、友人と学び合い、伝え合える」生徒の育成をめざし、学習環境を整えていきたいと考えております。

なお、本校は基本的に「毎日がオープンスクール」という意識で教育活動を推進しております。ぜひ、学校の様子をご覧いただけたらと思います。ご来校の際には、事務室(2階)または教頭までお申し出ください。

【 お知らせ 】

○文化発表会第2部、国語弁論

9月13日発行のプリントにおいて、未定となっております国語弁論の代表者は、2年生の厚地智之くんに決定しました。開催日は「学校だより No.6」でお知らせしたとおり、10月31日です。国語弁論の開始は、8時42分を予定していますので、ぜひ、本校体育館にお越しください。

【 生徒会本部役員 】

前期から後期への移行に伴い、生徒会本部役員が交代しました。第42期のメンバーは、1年間の重責を見事に果たしてくれました。特に、NHKの「いじめを考えるキャンペーン」(100万人の行動宣言)に対する学校参加について、本部役員の発案により活動を展開し、学校全体の「いじめゼロ」に対する意識を高めてくれたことには深く感謝します。本部役員の仕事は重圧のかかるものが多かったと思いますが、まさに「千射万箭」の気持ちで取り組んでくれました。本当にありがとうございました。

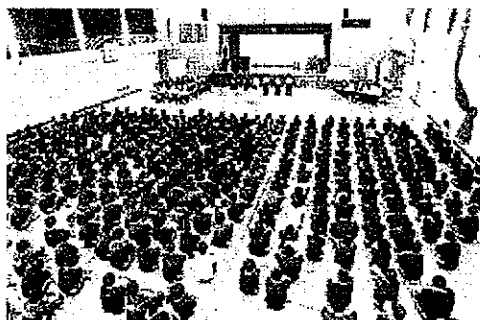
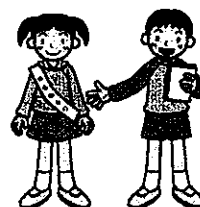
第42期生徒会本部役員

会 長	久保 由季子(3年B組)
副会長	村越 莉子(3年A組)、湊 愛夏(2年D組)
書 記	齋藤 徹(3年B組)、三谷 涼歌(2年B組)
会 計	高澤 宏輝(3年D組)、工藤 瞭(2年C組)

新役員である第43期のメンバーは、次の7名です。前生徒会長の久保さんは、10月6日の全校生徒への挨拶の中で「人は自分のためよりも誰かのための方が頑張れるし、自分の存在意義が高まる。」という趣旨の発言をしました。この素晴らしい精神を受け継ぎ、1年間、頑張っていたきたいと思います。より良い北陽中学校をつくるために、よろしくお願ひします。

第43期生徒会本部役員

会 長	湊 愛夏
副会長	三谷 涼歌、小関 凜(1年A組)
書 記	工藤 瞭、菊地 美咲(1年A組)
会 計	田中 柚(2年B組)、佐伯 由姫乃(1年D組)



(立会演説会より)



(PTAバザーより)

※今回の「学校だより No.8」は、「全国学力・学習状況調査」の結果公表を踏まえた特別号として発行いたしました。